

平成27年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

ジェンダー社会科学専攻

（一般入試・外国人留学生入試・社会人特別入試）

（外国語試験）

試験日：平成27年2月5日(木)

試験時間：9時30分～11時30分

【注意事項】

1. 問1と問2の両方に解答しなさい。
2. 解答は、問題ごとに、別の答案用紙に記述しなさい。それぞれの答案用紙に、志望するコース、氏名、受験番号のほか、必ず自分が解答した問題の番号も記入すること。
3. とくに指示がない限り、日本語で解答すること。

問 1 次の英文は、国際分業について、地域の結びつき、移住、商品ネットワーク、文化などの多様な相互作用の観点から、アフリカを取り上げて論じた文章の冒頭である。下線部①②③を日本語に訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

注 articulate: 表現する、表明する
erode: 浸食・腐食する（させる）
pervasive: 浸透した、広がっている
lofty: 高尚な、高慢な
GDLP: global division of labor and power
upsurge: 高まり、盛り上がり
anti-egalitarian 反平等主義の

出典

James H. Mittelman (2000) *The Globalization Syndrome: Transformation and Resistance* (Princeton: Princeton University Press), p. 90.

問2 以下の英文は、南アジア諸国の家庭裁判所における translation という問題をテーマとする学術論文の冒頭部分である。この論文では、そのタイトルからも示唆されているように、translation という言葉をさまざまな意味で用いている。この点に留意しつつ以下の英文を読み、次ページの(1)～(4)の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

出典

Srimati Basu (2010) Impossible Translation: Beyond the Legal Body in Two South Asian Family Courts, in *Law, Culture and the Humanities*, 7(3), pp.359-60.

注

apparatus : 機構、組織

litigant : 訴訟当事者

vernacular : その土地に特有のことば、現地語

legalese : 小難しい法律用語

compensation : (法律上の) 補償、賠償

metonymic : 換喩的な (king の代わりに crown を用いるなどの修辭法)

pertain to ~ : ~に関する

conjugal : 夫婦としての

salient : 目立っている、顕著な、突出している

litigate : 法的に争う

corporeal : 身体の、身体に関わる

circuitous : 回りくどい、婉曲的な

processes of adjudication : 司法過程

venue : (司法上の) 管轄

Alternate Dispute Resolution : (訴訟以外の) 代替的紛争解決手段

mediation : 調停 (ADR の一種。訴訟ではなく話し合いによる紛争解決を目指す)

grievance : 不平、苦情

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) 著者は、論文冒頭の第1段落で、法に関わる translation について説明をしている。著者の説明に即して、法に関わる translation にはどのような種類のものがあるかを日本語で分類・整理して示しなさい。
- (3) 下線部②にいう these gaps とは、具体的にはどのような gaps を指しているか。日本語で説明しなさい。
- (4) 下線部③を日本語に訳しなさい。

平成27年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

ジェンダー社会科学専攻

（一般入試・外国人留学生入試・社会人特別入試）

（ 専 門 試 験 ）

試 験 日： 平成 27年 2月 5日(木)

試 験 時 間： 13時00分～15時00分

【注意事項】

1. この問題冊子の全8問の中から2問選択して解答しなさい。
その2問のうちには、あなたが志望するコースが出題した問題を、
少なくとも1問は含めなければなりません。各問題の出題コース
名は、問題の上部に記載されています。
問題は、次の順番で配列されています。

問題番号	出題コース
問1～3	生活政策学コース
問4～6	地理環境学コース
問7～8	開発・ジェンダー論コース

2. 解答は、問題ごとに、別の答案用紙に記述しなさい。それぞれの
答案用紙に、志望するコース、氏名、受験番号のほか、必ず
自分が解答した問題の番号も記入すること。
3. とくに指示がない限り、日本語で解答すること。

生活政策学コース

問1 総務省の発表によれば、2014年12月におこなわれた第47回衆議院議員総選挙の投票率は、小選挙区選挙 52.66%、比例区選挙 52.65%で、戦後最低であった前回2012年の第46回衆議院議員総選挙の投票率をそれぞれ6.66ポイント下回り、最低記録を塗り替えた。近年、地方選挙、国政選挙を問わず、投票率の低さが問題になっている。

- (1) 投票率の低さの何が問題なのかを論じなさい。
- (2) 投票率が上がるためには、どのようなことが必要であると考えられるか論じなさい。

問2 男女の賃金格差に関して以下の問いに答えなさい。

- (1) 次の言葉を説明しなさい。
 - ① 差別に対する嗜好（消費者、雇用者、従業員）
 - ② 統計的差別
- (2) 日本における男女の賃金格差の現状（年齢階級別、学歴別、時系列的推移など）を踏まえて、男女の賃金格差が海外と比べても大きい理由を論じなさい。

生活政策学コース

問3 日本政府は少子化対策の一環として、1990年代後半から父親の育児参加を奨励してきたが、男性の育児参加の頻度は女性と比較して依然として低い。日本における男性の育児休業取得について、以下の3つの問いに答えなさい。

- (1) 2010年以降の育児・介護休業法の改正について、その概要をまとめ、問題点があれば指摘しなさい。
- (2) 2010年以降の男性の育児休業取得率の推移について述べなさい。
- (3) 男性の育児休業取得を促進する要因は何かを説明しなさい。

地理環境学コース

問4 扇状地とは何か、成因と特徴を説明しなさい。また、扇状地を活かした人間活動にはどのようなものがあるか、例を挙げて説明しなさい。

問5 20世紀後半の人文地理学の研究潮流について、下記の分野から少なくとも3つ以上を選び、それぞれの特徴に言及しながら説明しなさい。

地誌学、計量地理学、行動地理学、人文主義（人間主義）地理学、マルクス主義地理学、ポストモダン地理学、フェミニスト地理学

問6 次の①～⑥の用語から2つを選び、それぞれ10行以内で説明しなさい。具体例をまじえながら説明してかまわない。解答には、選択した用語の番号を付すこと。

- ① オゾンホール
- ② 自然災害
- ③ 風土
- ④ 中山間地域
- ⑤ 参加型開発
- ⑥ 破綻国家

開発・ジェンダー論コース

問7

世界の議会における議員のジェンダーギャップは1990年代以降改善されてきたが、未だに男性が78.1%を占めている(列国議会同盟、2014年11月1日時点の世界平均データによる)。例えば、日本の衆議院では男性議員が9割以上を占めている。

- (1) 議会における男性中心性(male dominance)はなぜ改善されにくいのか？
- (2) 議会のジェンダー不均等はどのような問題を起こしうるのか？

以上の2点について論じなさい。

問8

「ミレニアム開発目標 (MDGs)」の達成期限である2015年を迎えるにあたり、その達成状況を踏まえ、ポストMDGsにおいて取り組むべき課題について論じなさい。